

学生の皆さんの自宅待機期間中の行動について

北見工業大学に在籍する学生の皆さんには4月15日から4月29日の間自宅待機の要請をしているところです。

現在感染が拡大している東京を始め首都圏の様子を見ると、若者の危機感はほとんどなく、外出自粛、夜間の早期帰宅にも対応していません。テレビ放映を見る限り若者のマスク着用率もかなり低い状況です。

これはテレビでも言われていることですが、若者は感染への危機感がなく、感染していても気付かない場合があります。これから、様々な地域から多数の在学学生・新入生が北見に来ます。学生の皆さんの中に感染者が全くいない可能性はかなり低いはずですが、学内で見かける本学学生のマスクの着用率は少数です。マスクの効果は、飛沫感染を防止する上では有効であり、学生の皆さんの危機管理意識を確認するバロメーターにもなっています。

現在北見市において新たな感染者が発生していない中、学内で感染クラスターが発生し、急速に拡大することにより地域住民に感染させるということは絶対に避けなければなりません。

そのために、クラスターが発生した時の影響を少しでも小さくする目的で学生の皆さんに2週間の自宅待機の期間を設けました。

学生の皆さん一人ひとりが新型コロナウイルスに対する危機管理と意識改革を同時に持っていただきたいと思っています。自宅待機の期間を設けることで、大学は新型コロナウイルス対策をきちんととっているという地域住民の方々へのアピールにもなります。

この自宅待機期間は、不要不急の外出は控えるということで、できるだけ室内に友人と集まったりせず、三密（「密閉」「密集」「密接」）を避けた上で大学生協食堂や他の飲食店での食事も可能とし、必要な買い物の外出も可能とするものです。当然、教科書購入や健康診断の受診もOKです。

以上、自宅待機期間を設ける趣旨を理解し、各自が自覚ある行動をとってください。